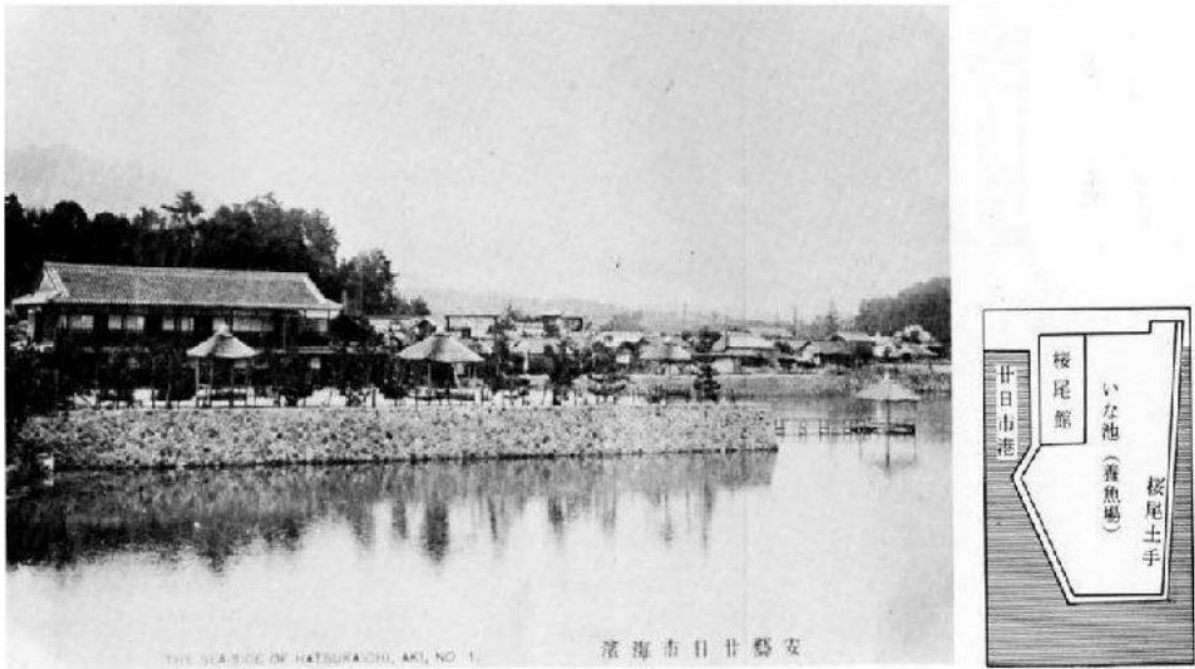


## 桜尾館



127年前、明治27年(1894)日清戦争が勃発。宇品港が兵站基地となり、憲政史上初めて東京以外の広島で国会が開かれた。その後、経済発展が進み生活の向上がみられ、廿日市も例にもれず、遊楽施設や公園などが整備された。

明治36年(1903)6月30日付芸備日日新聞によれば、佐伯郡廿日市東南の海岸桜尾新開眺望なる地を選び新設し、潮湯、蒸風呂、海水浴場桜尾館は、木造二階建にて宏壮(こうそう)なり。背後に広大なる運動場、養魚池を有し、近々小亭を設け夕涼の便に供すと云へるはよき思付なり。開業式は6月28日百数十名にて頗(すこぶ)る盛会なりしとある。

大正5年(1916)、桜尾新開の再建工事により、閉鎖となった。

(参考) 廿日市町史 通史編(下)、同資料編 V